



令和2年度 高田小学校経営方針

1 学校教育目標 『夢に向かって真っ直ぐ自分らしく生きる高田健児の育成』

— 正をたのしみ、正を踏む教育 —

校歌の三番に「正をたのしみ 正を踏む」という歌詞があります。夢に向かって「なりたい自分になる」には、「正しいことを考え楽しみ」「正しいことを行い歩む」ことが不可欠です。

2 目指す児童像（下線部の言葉は校歌から引用）

- | | | | |
|---|----------------|---|-------------------|
| た | たかた健児はつよくやさしく | … | 正しいことを考える強く優しい子 |
| か | かがやく希望の光をみにうけて | … | 夢を語り合い互いに切磋琢磨する子 |
| た | たた一筋に正を踏む | … | 信念を持って正しいことを実行する子 |



3 目指す学校像

- | | | |
|---------------|---|---------------------|
| 夢を実現する学びのある学校 | … | 「確かな学力」の習得に責任を持つ学校 |
| 夢を持つ育ちのある学校 | … | 何よりも自分の夢に向かう人を育てる学校 |
| 夢を地域と共有する学校 | … | 保護者と地域の真ん中にある学校 |

新1年生を見守り登校する上級生。朝一番に職員室のドアを開け自分から挨拶をする子供たち。時には失敗もあるけれど、自分らしく正しく生活しようとする姿が学校にはたくさんあります。そんな子供たちが自分の夢を持てるように、その実現に向けて歩み続けられるように、そして幸せになるようにと、願いを込めて取り組みます。

新しい学習指導要領スタート！

1 なぜ学習指導要領は新しくなったのか？

近年、グローバル化や、スマートフォンの普及、ビッグデータや人工知能（AI）の活用などによる技術革新が進んでいます。10年前では考えられなかったような激しい変化が起きており、今後も、社会の変化はさらに進むでしょう。子供たちが学校で学ぶことは、社会と切り離されたものではありません。社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質・能力を踏まえて学習指導要領が改訂されました。



新たに導入されるのが、小学校3・4年での「外国語活動（主に話すこと、聞くこと）」、小学校5・6年での「外国語科（加えて読むこと、書くこと）」、全学年での「プログラミング教育」です。「プログラミング教育」は、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的な思考力を育むもので、各教科の学習活動の中に組み込まれます。町内の小学校では、2019年度にも先行実施しました。



2 新学習指導要領では、どのように学ぶか？ キーワードは「主体的・対話的で深い学び」の視点

「主体的な学び」の視点

学びに興味や関心を持ち、自分の進路や職業などの方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるような学びになっているかという視点。

「対話的な学び」の視点

子供同士が目標を共有し、力を合わせて活動をしたり、先生や地域の人との対話や先人の優れた考え方を手掛かりに考え、自分の考えを広げ深めたりするような学びになっているかという視点。

「深い学び」の視点

各教科の「見方・考え方」を学ぶだけでなく、様々な教科等で学んだ見方・考え方を相互に関連付け、自分なりに問題を見だし解答を導きだせるような学びになっているかという視点。

このように、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視して、学校の授業を改善していきます。また、学級会ではクラスの生活課題を自分たちで解決する、総合学習では知りたいことを自分たちで調べる、TCC（クラブ活動）ではやりたい活動を自分たちで計画する、という意欲を引き出す活動により、各教科の授業で主体的に学習に取り組もうとする態度を育てていきます。

